

体内静電気を抜けば 病気は怖くない！

はじめに

ムシムシする夏の日、急に空が真っ暗になり、大粒の雨が落ちてくる。そして、ピカピカと稲妻が走ったと思ったら、ゴロゴロバツシャーンともものすごい雷鳴が……。多かれ少なかれ、身の危険を感じます。実際、落雷によって命を落とす人は、ひと夏に何人もいます。

雷は電圧が1億から10億ボルトにもなります。これだけの高電圧ですから、直撃されたらどんな人でもひとたまりもありません。

雷の正体をご存じでしょうか。鬼のような顔をして牛の角をもち、虎の皮のふんどしをして、太鼓をどんどんと打ち鳴らしている。そんな姿を思い浮かべる人もいるかもしれませんが、それは有名な画家が描いた雷神様です。空で雷神様が暴れているというのは、とても夢のある話かもしれません。実際は、もっと私たちに身近なものが、その正体なのです。

実は、静電気なのです。冬の晴れた日に、ドアのノブや車のドアに触ろうとすると、パチッと飛ぶ、あの静電気です。巨大な静電気が雲の中では発生していると考えてください。私は、この本で、体の中では静電気が起こっていて、それが溜まることで、体内でも落雷が起こり、さまざまな病気が発生しているというお話をしていきたいと思っています。そして、逆に、静電気を上手に抜くと、病気がよくなっていくことが多いというお話も、実際の事例を挙げながら紹介していきます。

体内静電気のことを、本という形にしてお話ししようとしたきっかけは、高校時代の同級生のO君からのメールでした。

「この間、おまえがいていた体内静電気について知りたいのだけれども、教えてくれないか」

メールがくる数日前に、私たちの地元である三重県で5年ぶりの同窓

会があり、O君と久しぶりに再会しました。私は地元に住み、彼は東京に住んでいるので、あまり会う機会はありませんでした。彼は、健康のことに興味があり、いろいろと勉強しているというので、あれこれ情報を提供しましたが、そのなかに、私の独自の理論である「体内静電気」の話もあったのです。

体内静電気の話をしたとき、彼は目を丸くしていました。

「そんな、聞いたことないで」

健康法をかなりマニアックに勉強しているO君でさえ、体内静電気について聞いたことがないというのは、当然といえば当然です。静電気についてはだれもが知っていますが、それは体の表面の静電気のことです。私という体の内部に静電気が溜まり、それが体にダメージを与えるという話は、たぶんだれも聞いていないだろうし、もちろん、本や雑誌でも紹介されていません。

「おまえが勝手にいうてることと違うんか」と、これももつともな疑問です。

「もちろん、体の中の静電気を測定することはできへんけどな。そやけど、体の中には静電気が起こっているはずやし、それが溜まるのも、理屈上は当たり前なんや。溜まった静電気が悪さをするのも、ちょっと考えれば当たり前のことや。実際、俺のところへは難病の人がいっぱいくるけど、静電気を抜くことでうそみたいに体調がよくなる人もいっぱいおるよ。はだして歩くと元気になるというのは、あれは静電気がアースされるからやと思うよ」

そんな説明をしましたが、なんだか腑に落ちないような顔をしていました。同窓会では、それくらいしか話せませんでした。彼のことから、東京へ帰ってから、いろいろ調べたのでしょうか。でも、詳しいことはわからなかったの、私にメールをくれたのです。

それまでも体内静電気の話は、いろいろな人に話したことがありますが、でも、ほとんどの人が「ふくん」といったきりでそれ以上の興味をもちませんでしたから、O君が、わざわざメールで「教えてほしい」といつてくれたのは、本当にうれしいことでした。ですから、私はサービ

ス精神を發揮して、メールで返事をしたり、電話でレクチャーしたりしました。

しかし、これが大変な作業だということが徐々にわかってきました。

「なんやおまえ、こんなことも知らんのか」

基本的なことはわかっていると思っただけです。たとえば、エネルギー保存の法則なんか、中学生のレベルでしょう。それも、よくわかってないので、私もイライラします。生来、せっかちな性格の私は、「おまえ、工学部出身と違うんか。おまえみたいなやつはしとれんわ。俺も、暇とちやうからな」と、あるとき電話で怒鳴りつけました。そしたら、彼はいいました。

「俺は、レベル低くないぞ。標準や。おまえ、せっかくな話してるのに、むずかしすぎて、だれもわからへんよ。博士号をとるならそれでええかもしれんけど、普通の人にわかってもらわんと、広がっていかへんやないか。」

悪いこといわんから、短気を起こさんと、俺がわかるように、説明してみんか。そしたら、世の中の半分以上の人がわかってくれる。それでこそ、体内静電気のこと世に広まって、助かる人がいっぱい出てくるんと違うか」

カッカしていたので、説教されているようで不愉快でしたが、後から冷静になって考えると、O君のいうのももつともだと思ひ直しました。

「よし、わかった。おまえがわかるように、俺は話をする。わからんところはなんでも聞いてくれ」

そんなことから、この本はできました。

私はこれから、人間の体の中、特に脳の中で雷が発生しているというお話をしたいと思っています。体の中で落雷があればどんなことが起こるか想像してみてください。細胞を直撃して、遺伝子に傷がつけば、がんになる危険性があります。脳で落雷があつて、それが脳神経細胞を直撃することで、脳がショートしてアルツハイマー、うつ病が引き起こされるということも十分に考えられます。

そして、体の中で起こる雷の原因になるのが「体内静電気」です。私

か名づけた言葉です。静電気は、日々刻々、体内で発生しています。この体内静電気が、さまざまな病気の原因になっているのが、本書のメインの話です。体内静電気が病気の原因ならば、それを除去すればいいのではというのが、その次にくる話です。簡単に体内静電気を除去し、健康になる方法も紹介します。

そんなところからスタートしてみたいと思います。よろしいでしょうか、O君。しっかりと聞いておくれ。

この本が、みなさま方の健康で幸せな生活のために、少しでもお役に立つことができるならば、私の最高の喜びです。

2009年夏 堀 泰典

目次

はじめに	1
第1章 えつ！ 体の中で静電気が発生している!?	5
摩擦が起こるところには、必ず静電気が発生する	5
たばこの煙が広がっていくのも静電気の影響!	6
雷は静電気の大親分。湿度100%以上でも静電気は発生する	8
ひどいアトピーで悩んでいる人に静電気除去を指導したら	9
静電気対策をしたら、薄くなった頭に毛が生え出した	11
要注意! 間違った健康法は万病のもと	12
始皇帝も間違った健康法で命を縮めた!?	13
第2章 体内静電気メカニズム	14
どうして赤血球はあんなに見事に離れているのだろう	14
血管を1本につなげば、血液は時速600万kmで流れる	16
人間は閉じた系。エネルギー保存の法則を適用すれば	18
ストレスが続くと体内静電気の量が多くなる	19
体内で発生した静電気は絶縁体に溜まる。体の中の絶縁体は?	20
むくみは、静電気が溜まることで起こる現象	21
動脈硬化の原因は、カルシウムとシアル酸と体内静電気	23
狭心症の発作は心臓のSOS	25
体内静電気には、ふぐ毒やサソリ毒と同じような作用がある	26
新型インフルエンザも、静電気を抜くことで予防ができる	27
第3章 体内で起こる落雷が神経細胞を破壊する	30
すさまじい光と音を発生させる雷も静電気による放電現象	30
雲の中で氷の粒やあられがぶつかり合って静電気が発生する	30
雲の中に溜まった静電気が堤防を決壊させるように放電する	31
落雷の被害をもっとも受けやすいのは脳内の神経細胞	32
神経細胞の突起に落雷があり、情報がスムーズに伝わらなくなる	32
静電気の神経細胞への影響	34
あなたの脳とコンピューター、どちらがデリケートにできている?	35
理屈っぽい左脳タイプの方がアルツハイマーになりやすい	37
燃えるオナラもあるのにお腹の中でなぜ爆発しない	37
細胞を老化させる活性酸素も体内静電気によって作られる	39
妊娠中や手術後の細胞増殖には活性酸素が欠かせない	41
体内静電気によって酸化還元反応が起こり、細胞が老化する	42
体内での落雷が遺伝子を直撃すれば、細胞が、がん化することも	43
アトピーはアレルギーではない!? 立毛筋の緊張が原因だ!	44
まずはストレスをなくし、次に肌を適切にケアする	46
ごしごしと垢を落としすぎるとアトピーは悪化する	47

静電気があるとカルシウムイオンが筋小胞体に戻りにくくなる	48
静電気によってトリガーポイントができる。静電気を抜くところがとれる	19
静電気を抜いて立毛筋をもとに戻すとアトピーがよくなる	50
メタボになると静電気が溜まり、それが糖尿病の原因に	51
第4章 体内静電気はこうやって抜け！	53
睡眠時間が長すぎると体内に静電気が溜まる	53
地面に手をつけるだけで体内静電気は抜ける	55
アースは、毎日続けることで静電気を除去する効果が出てくる	55
呼吸を工夫しよう。長息は長生きにつながる	57
口呼吸は免疫のバランスを崩し、病気の原因となる	58
筋肉を緩めると、たいていの不快な症状はとれていく	59
偏食をしないことで静電気の発生を抑えることができる	61
日本の伝統的な食事でミネラルをたっぷりとりよう	62
第5章 ピンピンころりの人生を生きるために	65
病気は、その原因のうちひとつをなくせばよくなっていく	65
足首の筋肉のずれを治すことで顎関節症を改善させた	65
病気治しは、よりよい死を迎えるための大切な手段	66
父親の死を見て、こんな死に方が幸せだと思った	66
日本全国に広がっているプチ健康運動	68
あなたには、「アホミロ」ができていますか？	70
おわりに	73